

思考廻廊メッセージ策定に寄せて

久留米大学附設高校 9回卒業生

母校の新校舎建築に伴う「思考廻廊」の設置構想を受けて、9回生は、同期生の賛同の下に、福岡と周辺の有志で、「思考廻廊パネルを考える会」を立ち上げ、メッセージ作りに着手しました。

我々9回生は、本年満70歳、いわゆる「古稀」を迎えますが、この記念すべき年に、はからずも「思考廻廊」にメッセージを発信することになり、その基本コンセプトを次のように決めました。

1. 附設9回生として特徴あるものとする。
2. “思い出”ではなく、これからの未来、日本を託すべき後輩へのメッセージとする。
3. 附設校風のイメージに適うものとする。

この考えのもと、9回生の「九」の音「きゅう」をかけ、「究(きゅう)」をメッセージとすることに決定しました。

校歌にあるごとく「修羅道の世を救い、平和の偉業を任とする」は、附設校の卒業生にとってアイデンティティであり、その具現化は課題であります。

その礎として、理系、文系を問わず「真理、誠を究めようとする精神」所謂「究」は重要な要素の一つであり、これは大変困難な、厳しい道程でもありません。

次世代を担う附設後輩の諸君には、生涯をかけてチャレンジする気概を持ち、日本のみならず世界へ雄飛され、新しい時代を創られんことを期待して、我々9回生からのメッセージとして「究(きゅう)」を贈ります。

デザインとしては、「究」の対象の真理は、捉え難く、深遠でもあることから、その象徴として「宇宙」を選びました。

そして、「究」の字を地球に「投影」することで、「究める」行動と結果が、人に、社会に貢献、寄与することを表現しました。